

2024年3月31日(日)

日本キリスト教団 **久宝教会**
第67巻第1号(通算3383号)
教会設立 1959年6月14日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:00-10:20 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう
週報

教会標語

かみさまがすべてのひとと共におられる
ことを証ししていく教会



ホームページ「久宝教会」
(ウェブサイト)

<http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>

【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

イエスは言われた。「私が復活であり、命である。

私に信頼して歩む人は、たとえ死んでいても生きる」(ヨハネによる福音書11:25)

ふっかつび れいはい
イースター(復活日)礼拝

れいはい
《礼拝はインターネットで中継配信いたします。ホームページにてどなたでもご視聴いただけますので、それぞれの場所で共に礼拝をして頂きます》

ぜんそう もくとう
前奏(黙禱) AVE VERUM CORPUS (©著作権消滅)

まね ことば しへん
招きの詞 詩編 149編 1-3節

てんとう ことば さんびか ばん ばん
点灯の詞と賛美歌 21-290番「おどり出る姿で」(©JASRAC)

さんびか ばん ばん かんむり しゅ
賛美歌 21-304番「いばらの冠を主にかぶせて」(©JASRAC)

せいし しょ ふくいんしょ
聖書 マタイによる福音書 28章 1-10節

いの
お祈り

さんびか ばん ち こえ ちよさくけんしょうめつ
賛美歌 21-326番「地よ、声たかく」(©著作権消滅)

メッセージ 「走って行った」 水谷 憲 牧師

さんびか ばん きゅうこん なか
賛美歌 21-575番「球根の中には」(©JASRAC)

ユーカリスト
聖餐 水谷 憲 牧師

きょうどう いの へいわ
共同のお祈りと、平和のあいさつ

さんびか ばん な ちよさくけんしょうめつ
賛美歌 21-524番「われらみ名により」(©著作権消滅)

しゅ いの
主の祈り

たんじょうしゃしゅくふくしき
誕生者祝福式(*) 水谷 憲 牧師

ささげもの
献げ物(*)

はけん ばん かみ めぐ う せつ
派遣 21-91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ)(©JASRAC)

しゅくふく
祝福 水谷 憲 牧師

こうそう
後奏 アーメン コーラス (21-40-6番)(©教団讃美歌委員会)

ほうこく
報告 (4頁をご参照ください)

せき すわ れいはい さんか
《席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

招きの詞 詩編 149 編 1-3 節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

- 1 ハレルヤ。／主に新しい歌を歌え。／忠実な人々の集いで賛美の歌を。
2 イスラエルはその造り主によって喜べ。シオンの子らはその王によって喜び躍れ。
3 踊りつつ御名を賛美せよ／タンバリンと琴を奏でて主をほめ歌え。

点灯の詞と賛美

点灯者① イエスさまの生涯をたどりましょう。(1本目に点灯)

イエスさまは家畜小屋で生まれ、飼い葉桶に寝かされました。

賛美歌 290番「おどり出る姿で」1節

点灯者② イエスさまは、漁師のペトロさんに「網を捨てて私についてきなさい」と言われました。(2本目に点灯)

賛美歌 290番「おどり出る姿で」2節

点灯者③ イエスさまは、安息日に病氣の人に手当てをされました。(3本目に点灯)

賛美歌 290番「おどり出る姿で」3節

点灯者④ イエスさまは、この世界の罪のために十字架に掛けられました。(4本目)

賛美歌 290番「おどり出る姿で」4節

点灯者⑤ イエスさまは、復活されました(5本目に点灯)

みんな アーメン

賛美歌 290番「おどり出る姿で」5節(6本目に点灯)

聖書 マタイによる福音書 28章 1-10 節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

1 さて、安息日が終わって、週の初めの日の明け方に、マグダラのマリアともう一人のマリアが、墓を見に行った。2すると、大きな地震が起こった。主の天使が天から降って近寄り、石を転がして、その上に座ったからである。3その姿は稲妻のように輝き、衣は雪のように白かった。4見張りの者たちは、恐ろしさのあまり震え上がり、死人のようになった。5天使は女たちに言った。「恐れることはない。十字架につけられたイエスを捜しているのだろうが、6あの方は、ここにはおられない。かねて言われていたとおり、復活なさったのだ。さあ、遺体の置いてあった場所を見なさい。7それから、急いで行って弟子たちにこう告げなさい。『あの方は死者の中から復活された。そして、あなたがたより先にガリラヤに行かれる。そこでお目にかかれる。』あなたがたにこれを伝えます。」8女たちは、恐れながらも大喜びで、急いで墓を立ち去り、弟子たちに知らせるために走って行った。9すると、イエスが行く手に立っていて、「おはよう」と言われたので、女たちは近寄り、イエスの足を抱き、その前にひれ伏した。10イエスは言われた。「恐れることはない。行って、きょうだいたちにガリラヤへ行くように告げなさい。そこで私に会えるだろう。」

《先週のメッセージより》3月24日 棕櫚の主日礼拝（受難節第5主日礼拝）

「真実とは何か」より

牛田匡牧師

聖書 ヨハネによる福音書 18章28-38節

「最後の晚餐」の後、反対するユダヤ教指導者たちによって逮捕、尋問され、その後、古代イスラエルを支配していたローマ帝国の総督ピラトの所に連れて来られたイエス様は、「どんな悪事を働いたというのか」(29)という問いに対して、「私は、真理について証しをするために生まれ、そのために世に来た」(37)と答えられました。目の前いる薄汚い一人のユダヤ人。縛られており、逃げ出すことも出来ず、話す以外は何もできない、仲間からも見捨てられた無力なたった一人の男。その男が証しする真理など一体何の役に立つというのか。ピラトは言いました「(お前が言う) 真理とは何か」。「ヨハネによる福音書」17章には、イエス様による長いお祈りが記されています。そのお祈りの中に、「私を愛して下さったあなたの愛が彼らの内にあり、私も彼らの内にいるように」(17:26)、また「あなたが私の内におられ、私があるあなたの内にいるように、全ての人を一つにして下さい」(17:21)とされているように、全ての人、全ての命が、命の源である神とつながって生かされ、イエス・キリストがいつでもどこでも共にいてくださっているということ、そのことに信頼して歩むということ、それこそが「真理」「真実」なのだと思います。

翻ってみると、私たちも日々の生活の中で、右を選ぶか左を選ぶか、判断を求められることが多々あります。しかし、右に行くのがよいのか、左に行くのがよいのか、それぞれの先には何が待ち受けているのかは、誰にも分かりません。先の分からないことを心配して、思い悩んでいても、気を病むだけです。分からないことは分からないままに、その時自分が正しいと思える所、真実があると感じる方を選ぶということしかないのだろうと思います。それこそ「右に行きなさい」「左に行きなさい」というような天からの声が「お告げ」のように聞こえて来ることはありませんが、どちらを選んだにせよ、神様が「私はいつでもあなたと共にいる」と言って下さっていることには変わりはありません。それこそがイエス・キリストがその身をもって私たちに示し続けて下さっている「真実」なのだと思います。ですから、私たちはその「真実」に信頼して、安心の内にここからの一步を踏み出して行きます。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



YouTube



◎ 先週の報告 3月24日 棕櫚の主日（受難節第6主日）礼拝

礼拝出席 大人5名 子ども3名

献金 大人 4,000円 中継視聴者数7回 感謝

礼拝後に釜ヶ崎支援のための「おにぎり支援」を行い、皆で178個のおにぎりを作りました。あいにくの雨でしたが、いこい食堂にて皆様にお配りすることができました。どうもありがとうございました。



◎次週 2024年4月7日（日）復活節第2主日礼拝

招きの詞 詩編 118編 22-24節

聖書 ヨハネによる福音書 20章 19-31節

メッセージ 「見たから信じる、見ないで信じる」牛田匡牧師

賛美歌 21-333 (©教団出版局)、21-197 (©教団出版局)、21-332 (©JASRAC)

礼拝後に4月期の「教会を考える会」を行います。

◎お知らせ

- ・本日の礼拝後に、愛餐会（昼食会）を行います。参加費は無料です。お時間の赦す方は、どなたでもどうぞご参加ください。
- ・これまでの「週報」や「メッセージ（全文）」は、ホームページに掲載しています。また中継録画のメッセージ部分をYouTubeでご覧いただくことも可能です。それぞれの方が参加しやすい形で礼拝にご参加ください。
- ・4月11日（木）19時～21時に、大阪市中央公会堂にてグリーンケア講演会「寄り添い人（ケアするもの）の苦難を理解するために ～介護にあたる人々の悲嘆を理解しましょう～」が開催されます（主催：opsol株式会社）。講師は上智大学グリーンケア研究所名誉所長の高木慶子先生で、参加費は無料です（定員100名）。先着順で事前申し込みが必要ですが、申込期間が3月31日（日）から、4月8日（月）まで延期されています。申し込み方法は、下記のURL（もしくはQRコード）より「グリーンケア講演会参加申込書」にアクセスいただき、メールまたはFAX、お電話にてお申込みください。

<https://opsol.co.jp/grief-care-seminar/>



◎ 次週以降の行事予定

	メッセージ	行事
4/7	牛田匡牧師	ユウカリスト・考える会
4/14	水谷憲牧師	（第二好意の庭・感謝祝福式）
4/21	牛田匡牧師	教会総会
4/28	水谷憲牧師	誕生者祝福式・おにぎり支援

opsol株式会社主催 講演会

「ケアするもの」
「寄り添い人」の苦難を
理解するために

～介護にあたる人々の悲嘆を理解しましょう～

参加費
無料

定員
100名

どのような現場でも、介護やケアに当たる寄り添い人の苦悩は孤独であり、深く悲しいものがあると考えております。そのような方々へのケアの大切さに気づき、相互に支え合い、励まし合う関係の大事さを実感できる機会としたいと考えております。

講師：高木慶子先生

・一般社団法人全人力を磨く研究所理事
・上智大学グリーンケア研究所名誉所長

高木先生の詳しいプロフィールはこちら

<http://www.genjin-yoku.com/profile.html>

日時 2024年
4月11日（木）
19:00～21:00（開場18:30～）

会場 大阪市中央公会堂 小集會室

申込方法 別紙申込用紙をご参照ください

申込期間 2/1②～3/31②まで 先着順に受付

※定員を超えた場合はその時点で締め切ります
※最新の応募状況については
opsol株式会社HPをご参照ください
<https://opsol.co.jp/grief-care-seminar/>

問合せ先 opsol株式会社 総務部

☎ 0596-63-8318
☎ 0596-21-0005
✉ jimu-toukatsu@opsol.co.jp

主催：opsol株式会社 共催：opsol group株式会社 株式会社VIVA NYAGO 協力：株式会社 spirituelle beauty
後援：上智大学グリーンケア研究所 一般社団法人全人力を磨く研究所 兵庫・生と死を考える会